

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和55年3月4日

第45報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	40		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	60		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	880	◎	
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	240		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	280		○
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	○	◎
(他) その他の植物プランクトン	40		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	40	1.8	0.9
(珪) 珪藻綱	1180	54.1	25.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	280	12.8	31.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	640	29.4	42.1
(他) その他のプランクトン	40	1.8	0.0
総細胞数	2180	総体積 (μm^3)	1.52E+06
種類数	7		

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

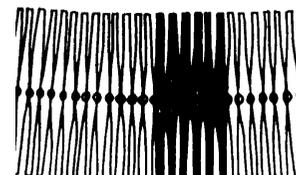
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Fragilaria crotonensis</i>	880

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

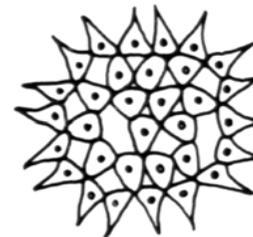
植物プランクトン第1優占種



Fragilaria crotonensis
(オビケイソウ)
珪藻綱

多数の細胞が中央殻面で互いに接しあつて、帯状の群体を形成して浮遊する。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)
緑藻綱

16、32、64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。